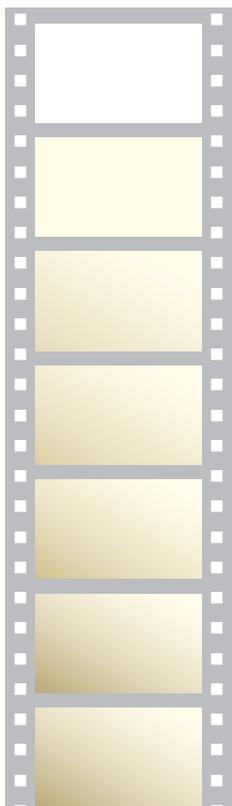


伸^{ノブ}さんのシネマトーク

鈴木 伸夫



第二十四回 「ケネディとコーラス」③

JFK（ジョン・フィッツジェラルド・ケネディ）は、マサチューセッツ州・ブルックラインで、17年5月29日、投資家のジョセフ・P・ケネディ・シニアの五番目の息子として、誕生しました。

第二次世界大戦中の40年、ハーバード大学を卒業後、陸軍に志願しますが、大学時代、フットボールで受けた背中の傷のため入隊できませんでした。

しかし、身体を鍛え、翌年（41年）海軍に志願し、43年、26歳の若さで魚雷艇の艇長として太平洋戦争中、さまざまな作戦に参加しました。

マニラ湾で日本軍と闘う体験談を映画化した「魚雷艇109」（63年製作 レスリー・H・マーティンソン監督）は大統領在任中に製作されました。若き日のケネディに扮したのは当時38歳のクリフ・ロバートソン。彼は、ケネディ大統領の許可を生前得て、主役に抜てきされました。

物語は、JFKの指揮する魚雷艇が、日本の駆逐艦「天霧」アマギリの体当りで撃沈され

ながらも、冷静な判断で乗組員全員の生命を救ったエピソードを再現したもので、日本での放送タイトルは「若き日のケネディ 魚雷艇109」でした。（RABテレビで昭和51年10月2日土曜日午後10時〜土曜映画劇場で放送）

JFKは第二次大戦後、戦争で亡くなった兄（ジョセフ・P・ケネディ・ジュニア）に代わって政界入りし、29歳で下院議員、35歳で上院議員に当選しました。

そして36歳の時、執筆した英雄的政治家の伝記を書いた「勇気ある人々」で、ピューリッツア賞を受賞。43歳で大統領候補に指名されたのです。

当時の僕たち高校生にとつて若い青年大統領が暗殺されたというニュースは、アメリカという国が「自由の国」と言われていただけに「怖い国」になったという気持ちで受け止められたのです。

JFKが亡くなった翌年（64年）記録映画も製作されました。JFKの大統領在任二年十カ月の足跡をまとめた感動の記録「ケネディ大統領 稲妻の二年十カ月」（64年製作・企画製作ジョージ・ステイヴンス・ジュニア・監督と音楽担当ブルース・ハーシェンゾーン）

また、劇映画になった作品もたくさんあります。JFKの暗殺そのものを描いたオリバー・ストーン監督の「JFK」、デビッド・ミラー監督の「ダラスの熱い日」、キューバ危機を描いたロジャー・ドナルドソン監督の「13デイズ」、暗殺を防ぐことが出来なかった男を描くクリント・イーストウッド主演・ウォルフガング・ペーターゼン監督の「ザ・シークレット・サービス」、トム・ハンクスと大統領が握手をするロバート・ゼメキス監督の「フォレスト・ガンプ 一期一会」などです。

映画だけではなくレコードも発売されています。大統領就任式の歴史的就任演説のテープからスピーチを抜き出し、それをうまく編集して、コーラスと音楽を加え、ケネディ大統領が音頭をとって大合唱とともに楽しく歌っているかのように制作したLPレコード「ケネディと歌おう」。企画・製作ジョージ・アトキンスとハンク・レヴァイン、作曲・編曲・演奏・指揮はハンク・レヴァインが担当しています。

たとえば、コール・ポーターの名曲「ビギン・ザ・ビギン」のタイトルを言い変えてLPの中では「ビギンでいこう」というタイトルに。それがシングルカットされた時には「自由の讃歌」というタイトルになりました。

♪ 自由の讃歌
LET US BEGIN BEGUINE

ハーモニカのメロディ

Together (ケネディ 1回、コーラス 3回)

Let us explore the stars

Together (ケネディ 1回、コーラス 3回)

Conquer the desert

Eradicate disease

Tap the ocean depths

Together (ケネディ 1回、コーラス 4回)

Let us explore the stars

All this will not be finished

In the first one hundred days

Nor will it be finished

In the first one thousand days

Nor in the life

Of this administration

Nor even perhaps in our lifetime on this planet

But let us begin

レコード番号 JET-1319

レーベル リブリーズ (REP-1319)

(合唱はケネディの言葉を追いかけるように、いわゆる輪唱で歌う)

この曲は、日本のヒットパレードで64年1月、2月、上位にランキングされ、ヒットチャートにぎわえました。

これを読んでいるあなたもサア「ケネディと歌おう」。

この歌詞は、ケネディ大統領が大統領選挙期間中、掲げた「ニューフロンティア精神」に基づくもので、「アメリカ国民へ、国が何をしてくれるのではなく、国のために自分が何ができるのかを考えてほしい。また、世界の人へ、アメリカが何をしてくれるかではなく、人類の自由のためにみんなが何ができるのか考えてほしい」と訴えました。高校一年のぼくにとつてこの精神は、強いリーダーのスローガンとしていまでも強く心に残っています。

〈了〉

伸

平成23年7月